

2013年度 研究集会

テーマ



青年・子どもが求める 真の学習とは

1 10:00 趣旨説明(事務局)

2 10:15 **シンポジウム**
「青年・子どもが持続した学習意欲を
持つ学習とは」

シンポジスト 小・中・高校の教師

3 質疑

4 13:00 **講演**

「青年・子どもが求める真 の学習とは」

福田 誠治さん

(都留文科大学)

◇定員 50人

■参加ご希望の方は、当日、飛び入りも大歓迎ですが、
資料準備、会場設営等の必要上、前々日までに、
下記へ、メール、ファックス等で、お名前・連絡先を明記
してお申し込みください。定員になりしだい締め切ります。

資料代500円

主催 滋賀県民主教育研究所

大津市朝日が丘1-11-3 教文会館2F

tell & fax 077-525-5364 <不在時、080-3861-7466本田>

eメール shiga-minken@gmail.com

◇とき 2014年2月16日(日)

9:45受付 10:00開会~16:00閉会

◇会場

滋賀大・大津サテライト・プラザ

<JR大津駅前の日生ビル4Fです>



◆講師は、比較教育学のすぐれた研究者で、日本の教育政策の行き詰まりをフィンランドの教育との比較で明らかにする福田誠治さん。

◆「テストもないのに勉強する」これがフィンランドの教育。教育の面白さの追求。一方日本の教育は事細かくマニュアル化され効率優先、ドリル重視。さらに点数の公表で学校間、教師間競争させる。

◆フィンランド教師は、事務報告、その他の文書作成は 月1.1回。授業の運営は個々の教師に任せられ、管理者への文書作成は不要。家庭で過ごす時間は7時間13分。教師にとって「最も重要なのはモチベーション。教師の意欲、生徒の学習意欲こそが核心」

□ 講師 福田誠治さんプロフィール

■1950年 生まれ

■現在 都留文科大学教授、副学長

■研究テーマ

近代化と人間形成 言語と能力形成

■主要業績

・『競争やめたら学力世界一フィンランド教育の成功』

2006年朝日選書

・『格差をなくせば子どもの学力は伸びる 驚きのフィンランド教育』

2007年叢書

・『競争しても学力行き止まり イギリス教育の失敗とフィンランドの成功』

2007年朝日選書

・「全国学力テストとPISA いま学力が変わる」国民教育文化総合研究所編

アドバンテージサーバー2007年

・『子どもたちに「未来の学力」をフィンランドの学力観に学べ』

2008年東海教育研究所

・『フィンランドは教師の育て方がすごい』

2009年叢書

◆多くの方のご来場と討論への参加をお待ちしています。

◆どなたでも参加いただけます。